



あすぎ 市議会だより

vol.

72

2022. 10

9月定例会議特集

令和3年度決算審査 委員会行政視察概要

主な掲載内容

令和3年度決算審査	P 2～P 3
本会議での審議結果	P 4～P 5
委員会報告	P 6～P 7
一般質問要旨	P 8～P 15
委員会行政視察概要	P 16

編集・発行：安来市議会広報広聴委員会
TEL：23-3125/FAX：23-3153

はで平しの様子（荒島町）

9月定例会議 令和3年度決算審査

9月定例会議に上程された令和3年度一般会計、特別会計および企業会計の歳入歳出決算（合計12議案）が予算決算委員会に付託されました。前期全体会では、全体の歳入について審査を行い、その後3つの分科会で所管の歳出について審査を行いました。後期全体会では各分科会の審査内容について委員長報告を受けた後、採決を行いました。議決結果は12件とも認定です。以下、定例会議最終日の本会議における予算決算委員長報告の要旨を掲載します。

予算決算委員会審査

■前期全体会（9月7日）

質問 実質収支が今回9億2,000万円余であるが、例年だと5億円程度だと記憶している。歳入は予算内で収まっていることから、不用額が実質収支になっているように見えるが、例年と違う部分は何か。

答弁 歳入は予算と同程度となっているが、特別交付税において、新たに不採算地区の中核病院の部分が加算されたことなどによるものが2億5,000万円程度、また、新型コロナウイルスワクチン接種の国庫補助金など事業決算以上に歳入されたものが1億5,000万円程度あったことが要因である。実質収支からそれらを除くと5億円程度となり、例年の規模と考えている。



質問 市民税の法人分が上がるように取り組んでいただきたいがいかがか。

答弁 コロナ等で厳しい状況ではあるが、やはり税収を増やしていく努力が

必要で、特に製造業含めて、新たな設備投資をしていただくような企業誘致は大事だと思っており、そこはしっかりと工夫して取り組んでいきたい。

■地域振興分科会（9月8日）

安来農林振興協議会負担金

質問 当初予算額と比べて決算額が減った理由は。

答弁 コロナの影響で安来市農林業祭等事業を中止したため。

道路橋りょう災害復旧費

質問 昨年の7・8月豪雨による被害は、数字的に何割復旧しているのか。

答弁 安来インター工業団地の事業費割合が大きいため、事業費ベースでは71%だが、被災箇所数では、273件のうち3件残っている状況である。

■総務企画分科会（9月9日）

移動通信用鉄塔整備事業

質問 この度の整備により受益を受けたのは何世帯か。

答弁 今回整備した地域では2世帯3名であった。ただし、この事業は令和2年度より採択の要件が改正され、受益を受ける世帯数から県道や国道など

の道路の交通量が基準となった。この地域では1日約620台の交通量があることから、その方々も受益を受けられたと思っている。

ふるさと寄附推進事業

質問 寄附金額が減少したことは、様々な理由もあり仕方のない面もあるが、全国的には増えているので、知恵を絞っていただきたいがどうか。

答弁 全国的には、令和2年度は6,724億円だったものが、令和3年度は8,302億円と伸びている中で、安来市は1億円強減らしている。大きな要因としては、一昨年度まで返礼品の人気となっていたズワイガニが、昨年11月から仕入れ単価の関係で値上げとなり、さらに年末にかけて、コロナの影響により輸入が滞ったことで、一時品切れになるなどしたことが大きいと分析している。寄附金額が減るといふことは今後の財政運営に大きく影響するものと思っており、大きく伸びることは難しいかもしれないが、維持・微増ができるように事業を進めていきたいと考えている。また、今年度から企業版ふるさと納税についても力を入れており、トータルで財源確保ができるように取り組んでいきたい。

■文教福祉分科会（9月12日）

医師・看護師等確保対策事業

質問 令和3年度は看護学生3名、薬学生1名であった。医師確保という意味での事業としては、やはり本当に力を入れていかないといけない。令和3年度状況を伺う。

答弁 特に医師については、久しく希望者が少ない。高校へパンフレットを配ったり、訪問して説明をしたりしているが、ここ2年はコロナ禍で、積極的にできていない。現在県が、高校生よりも中学生に、人材育成も含め力を入れていくという意向であり、今後は市としても、高校生はもとより、中学生に向けても医師を目指す人材を望んでいるところである。

質問 医師について、安来市は勤めるところが極めて限定的である。安来市内で医師を確保したいのであれば、病院の開業支援を行うのが確保のためになるのではないかと。

答弁 今後医師の確保が難しくなってくるという現状もある。こういった施策がよいのかは並行して考えていかなければならない。

スクール

ソーシャルワーカー活用事業

質問 実際に不登校の生徒数は、小学校中学校でどれくらいあるのか。

答弁 令和3年度は、残念ながら小中とも大幅に増加をしている。小学校が31名、中学校では54名であり、過去の統計としては一番多い数字ということになる。

質問 今後、どういうやり方で子どもたちを学校へ返していくのか。

答弁 学校としては、これまでの対応とともに、不登校の子の学びの保障をしつかりするために、まずはタブレット端末を活用して学校の授業の様子を配信し、家庭で学習ができるような環境を整え、登校に繋げる取り組みを昨年度から行っており、少しずつ増えてきている。一つの効果的な取り組みであると、委員会としても期待をしているところである。

病院事業会計

質問 資金不足が発生し、経営改善ができないという状況がこれからも続くと思えるが、どう考えているのか。

答弁 経営面ということだけではなく、市内の医療をどうするかということの中で、既存の市内にある医療施設、或



■後期全体会（9月14日）

採決

いは機関、さらには資金の関係も含めて、どのような形にしていくなかについて、抜本的な解決が必要だと考える。その検討は引き続き行っており、追って示させていただき、議論させていただければと考えている。

認第5号、認第7号、認第8号、認第9号、認第10号の5件は全会一致での認定すべきものと決しました。認第1号、認第2号、認第3号、認第4号、認第6号、認第11号、認第12

号の7件は賛成多数で認定すべきものと決しました。

※議案の詳細は4～5ページをご覧ください。

予算決算委員会 指摘事項並びに審査意見

1. 財政運営

財政健全化は喫緊の課題であり、確実に改善を図っていかなければならないが、引き続き市民ニーズに合致した事業の維持・向上と人口減少対策やライフライン等についての有効な事業も展開し、将来を見据えた持続可能な財政基盤の構築に努めていただきたい。

2. 市有財産の管理

計画目標の達成に向けて、更なる施設総量の削減、適正化を図りたい。

3. 収入未済額

収納率が年々改善されている点は評価しており、今後も市税、国保税の滞納が減少するよう努められたい。

4. 新型コロナウイルス対策事業

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業についても、市民や事業者のニーズなどを的確に踏まえた対策事業の展開となるよう努められたい。

令和4年7月緊急会議（令和4年7月5日）議案等の審議結果

7月緊急会議では一般会計「シニア世代スマホ購入支援事業」「やすぎ家計応援商品券事業」等を含む一般会計補正予算案（3億3,300万円）1件の審議を行い、可決しました。また報告2件を受けました。

■全会一致で可決、認定等した議案

提出者	番 号	件 名
市長	議第64号	令和4年度安来市一般会計補正予算（第3号）

■報告事項

提出者	番 号	件 名
市長	報第15号	議会の委任による専決処分の報告について

提出者	番 号	件 名
市長	報第16号	議会の委任による専決処分の報告について

令和4年9月定例会議（令和4年9月1日～16日）議案等の審議結果

9月定例会議では条例案4件、市道路線案2件、補正予算案9件、同意案1件、諮問案1件の審議を行い全て可決しました。また令和3年度決算に係る認定案12件を審議し、すべて認定しました。決算審査についてはp2～p3をご覧ください。さらに、陳情1件についても審査を行い採択と決しました。

■賛否の分かれた議案

賛成…○、反対…×、欠席…欠、除斥…斥、退席…退、棄権…棄

提出者	番 号	件 名	議席番号	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
					内田卓実	湯浅正志	三原哲郎	清水保生	福井加代子	岡本早智雄	原瀬清正	飯橋由久	岩崎勉	三島静夫	向田聡	澤田秀夫	佐々木厚子	作野幸憲	石倉刻夷	足立喜信	葉田茂美	永田巳好
市長	認第1号	令和3年度安来市一般会計決算の認定について		認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	認第2号	令和3年度安来市国民健康保険事業特別会計決算の認定について		認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	認第3号	令和3年度安来市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について		認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	認第4号	令和3年度安来市介護保険事業特別会計決算の認定について		認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	認第6号	令和3年度安来市生活排水処理事業特別会計決算の認定について		認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	認第11号	令和3年度安来市下水道事業会計決算の認定について		認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	認第12号	令和3年度安来市病院事業会計決算の認定について		認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

※議員定数18人 議長は採決に加わらない

■全会一致で可決、認定等した議案

提出者	番 号	件 名
市長	議第65号	安来市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について
	議第66号	安来市手数料条例の一部を改正する条例制定について
	議第67号	安来市鉄の歴史博物館条例の一部を改正する条例制定について
	議第68号	安来市消防団条例の一部を改正する条例制定について
	議第69号	市道路線の認定について
	議第70号	市道路線の変更について
	議第71号	令和4年度安来市一般会計補正予算（第4号）

提出者	番 号	件 名
市長	議第72号	令和4年度安来市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
	議第73号	令和4年度安来市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）
	議第74号	令和4年度安来市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
	議第75号	令和4年度安来市電気事業特別会計補正予算（第1号）
	議第76号	令和4年度安来市生活排水処理事業特別会計補正予算（第1号）
	議第77号	令和4年度安来市水道事業会計補正予算（第1号）
	議第78号	令和4年度安来市下水道事業会計補正予算（第1号）

市 長	議第79号	令和4年度安来市一般会計補正予算（第5号）
	認第5号	令和3年度安来市電気事業特別会計決算の認定について
	認第7号	令和3年度母里財産区特別会計決算の認定について
	認第8号	令和3年度井尻財産区特別会計決算の認定について

市 長	認第9号	令和3年度赤屋財産区特別会計決算の認定について
	認第10号	令和3年度安来市水道事業会計決算の認定について
	同第5号	安来市固定資産評価審査委員会委員の選出について
	諮第2号	人権擁護委員候補者の推薦について

■報告事項

提出者	番 号	件 名
市 長	報第17号	令和3年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
	報第18号	安来市土地開発公社の経営状況説明書について
	報第19号	公益財団法人加納美術振興財団の経営状況説明書について
	報第20号	一般財団法人夢ランドしらさぎ振興事業団の経営状況説明書について

提出者	番 号	件 名
市 長	報第21号	一般財団法人安来ふるさと公社の経営状況説明書について
	報第22号	有限会社やすぎ千軒の経営状況説明書について
	報第23号	議会の委任による専決処分の報告について

■請願・陳情審議結果

番 号	件 名	付託委員会	委員会結果	本会議結果
陳情第3号	陳情書（養護老人ホーム鴨来荘の早期改築について）	文教福祉	採 択	採 択

全員協議会（令和4年9月16日）議案等の審議結果

■全会一致で承認された案件

提出者	番 号	件 名
市 長		新安来工業団地（仮称）整備事業の中止と計画地の林業活用について

〈研修①〉
 データの利活用による
 地域の諸課題の解決
 講師…総務省統計局
 統計利用推進研究官
 長 藤 洋 明 氏
 内容…証拠に基づく政策立案の
 意義、最近の動向や取組、デー
 タを活用した政策立案等の事
 例等について学んだ。

〈研修②〉
 アフターコロナの
 観光地づくり
 講師…跡見学園女子大学
 観光コミュニケーション学部
 准教授 篠 原 靖 氏
 内容…アフターコロナを見据え
 た、観光による関係人口の創
 出と地域ブランドの確立に向
 けた取組について学んだ。



令和4年度島根県市議会議長会
議員研修会16名参加

日にち…令和4年8月2日（火）
 場 所…ビッグハート出雲 白のホール

9月定例会議 常任委員会報告(要旨)

条例案4件、市道路線案2件、
補正予算案8件、陳情1件を審査

総務企画委員会

■議第65号 安来市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について

質問 この度の改正は、大きなものとして育児休業の分割取得が2回まで可能となったこと、また、1歳を超えて取得する場合の開始日の条件が緩和されたこと、更に、男性が4週間を上限として産後パパ育児が取得できることだと理解しているが、常勤職員と会計年度任用職員との違いはなにか。

答弁 育児休業について、常勤職員は、子供が3歳までの間で取得可能であることに對し、会計年度職員は、原則1歳までで、保育所に入所できない等の場合に、最長2歳まで取得可能となることに違いがある。

質問 取得日数について、本人が申請をして、管理者との合意があれば、日数的には決まっていまいという理解でよいのか

答弁 常勤職員だと最長3年、会計年度職員だと1年もしくは条件によって2年という上限はあるが、逆に言うとう下限はなく、1日だけという取り方も制度的には可能となっている。

質問 制度が充実することは良いことだと思うが、大切なのはそれがきちんと取得できる環境づくりだと考える。そのあたりの対策は万全にしていたいただきたいかがか。

答弁 今年の4月から少しずつ育児休業法は改正されており、それに伴い説明責任も課されていることから、この度の改正にあわせた管理職への制度説明等を順次行っているところである。また、対象の職員には積極

的に説明をおこない、取りたい人が取りやすい環境を作るように努力をしたい。

消防団の
体制について確認

■議第68号 安来市消防団条例の一部を改正する条例制定について

質問 報酬について、県内他市の条件と比較してどうか。

答弁 他市と同等の条件となっているものと思っている。

質問 定数については、現状に合わせて数値とのことだが、特に中山間部は仕事等で現場まで時間がかかると思われ、この人員で対応できるか心配する。このような中で団員を確保していくためにはどのような考えがあるか。

答弁 引き続き消防団の方には団員の確保に努めていただくとともに、なかなか団員が招集に応じられない場合には、圏域を越えた分団の応援体制も構築しており、そのように対応していきたいと考えている。

2議案とも全会一致で可決

文教福祉委員会

■議第67号 安来市鉄の歴史博物館条例の一部を改正する条例制定について

改正後の文言等の確認のみあり

全会一致で可決

鴨来荘に対する

迅速な対応を望む

■陳情第3号 陳情書(養護老人ホーム鴨来荘の早期改築について)

意見 現地を視察し、二階建ての建物であればそれなりのものができること確認できた。また医師の移動配置や調理



のこと設備の共有等、隣接したところ
にできる様々なメリットを伺い、早く
進めていただきたいと考える。

意見 現状、入所者の方がベッドで6
畳2人部屋だとかかなり窮屈な思いをさ
れている。加えてトラブルも発生し
ているというような事象があれば、
早急にこれを進めて行かなければな
らない。

全会一致で採択

地域振興委員会

■議第66号 安来市手数料条例
の一部を改正する条例制定につ
いて

法令用語の確認のみあり

■議第69号 市道路線の認定に
ついて

■議第70号 市道路線の変更に
ついて

議第69、70号は路線の位置確認のみ
あり

3 議案とも全会一致で可決

予算決算委員会

■議第71号 令和4年度安来市
一般会計補正予算(第4号)

園芸施設整備事業費
交付金事業

質問 施設整備することで、売り上
げはどの程度見込まれるのか。

答弁 今年度の売上は約2,300
万円、事業完了後は約9,800万
円を見込んでおり、約7,500万
円の増収の見込みであることを確認
している。

質問 全額が国庫支出金であるが、
最後の決算まで担当課において計画
的に確認を行っているか。

答弁 国事業、県事業にかかわらず、
当初計画が数年後に達成できるとい
う見込みの中で、毎年の収支状況や
経営状況の確認をおこなっており、
今後も関係機関と連携をして進めて
いく考えである。

道路環境整備事業

質問 今回の事業では、道路の沈下

原因を把握して、再度沈下しないよ
うな整備をするということか。

答弁 沈下の主な原因は、下水道の
埋設工事起因するものではないかと
判断しており、沈下を全くなくす
ということは難しいと思うが、舗
装の打ち替え等を行い、平たん性を
保つていこうと思っている。

スクールバス運行事業

質問 ほぼ同じ時期に布部小学校に
もスクールバスが入っており、同じ
ような距離を走っていると思うが、
同様の故障等の心配はないか。また、
購入に際しての補助はないか。

答弁 確かに同時期の購入であり、
走行距離もかなりの距離になっている
ため、随時点検をしながら、状況
によっては今後購入を検討していく
必要があると思っている。また、補
助については無い。



■議第72号 令和4年度安来市国民
健康保険事業特別会計補正予算
(第1号)

■議第73号 令和4年度安来市後期
高齢者医療事業特別会計補正予算
(第1号)

■議第74号 令和4年度安来市介護
保険事業特別会計補正予算(第1号)

■議第75号 令和4年度安来市電気
事業特別会計補正予算(第1号)

■議第76号 令和4年度安来市生活
排水処理事業特別会計補正予算
(第1号)

■議第77号 令和4年度安来市水道
事業会計補正予算(第1号)

■議第78号 令和4年度安来市下水
道事業会計補正予算(第1号)

議第72、78号は数件の確認のみあり

8 議案とも全会一致で可決

※決算審査については2ページから
3ページをご覧ください。



QRコードを読み取ると議員の一般質問の様子を動画で見ることができます。

9月定例会議 一般質問要旨

市の考えを問う！

議員14名が 一般質問

安来市議会では、市民にもっとよく見え、より開かれた分かりやすい議会の推進をめざして、「山陰ケーブルビジョンやすぎどじょつこテレビ」による一般質問等の議会中継番組をYouTube（ユーチューブ）で生配信および録画配信しています。議会中継の視聴についての詳細は安来市議会ホームページをご覧ください。

一般質問動画 絶賛配信中

コロナ後を見据えた観光戦略



政進クラブ
飯橋 由久

質問 台湾・新北市新店区との交流に向けた協議について考えを伺う。

答弁 新店区の朱区長とのオンライン会議において、経済交流については、工芸品や食品類、酒類等お互いの市場での販売や、お互いの自治体の観光地を巡るツアーを組むことで、インバウンド経済の活性化を図ることなどを提案している。

朱区長からは、商工団体や民間企業の交流の橋渡しや1日観光コースの提供のほか、交流の効果を最大限に発揮できるよう新店区が所属する新北市政府の経済発展局や観光局を巻き込んだ積極的な各種交流やプロモーションなど、前向きなご提案をいただいている。

安来市としては、今後は人的交流だけでなく、経済交流も積極的に推進し、交流都市からの誘客や物産の

流通の促進を図っていきいたいと考えている。

質問 今後の将来を見据えた本市の観光振興について市長の考えを伺う。

答弁 本市は全国でも有名な安来節の発祥の地であり、足立美術館、月山富田城跡、清水寺など様々な観光スポットがある。この優れた観光資源を活かし、観光協会や民間事業者と連携して観光振興を推進していきたいと考えている。

また、今年度「日本遺産」である「出雲國たたら風土記」鉄づくり千年が生んだ物語が他の地域のモデルとなる地域として「重点支援地域」に選定された。この日本遺産を活用した取り組みを安来市、雲南市、奥出雲町の2市1町で連携し、観光客への情報提供、圏域内の周遊を促し、圏域全体の経済効果を高めることにより、安来市の観光振興、地域振興につなげていく。

インバウンドについては、中海・宍道湖・大山圏域観光局で取り組む事業に加え、台湾・新北市新店区との国際交流も十分に活かしながら進めていく。



心 保生
清水

コロナ禍と市民生活、 定住対策について

質問

こども園、小中学校等施設
ここの感染者数等は、これまでは非公表であったが、憶測等により誤った情報が流れることもある。状況が変わった今後はもう少し情報をオープンにしたほうが良いと思うが見解を伺う。

答弁

不安に思っておられる市民の方もおられると思うが、公表しない方針について変更はない。今後も県と足並みをそろえた対応をしていく。

質問

長引くコロナ禍、これから先当分の間はコロナを避けては通れない。コロナを必要以上に恐れず、やり方を工夫するなど、感染対策をしつかり講じたうえで、各種事業、イベントは開催の方向で検討したほうが良いと思うがいかがか。

答弁

今後計画するイベント等については、県の目安に基づくものは

もちろん、その規模に関わらず「三つの密」が発生しない席の配置や「人と人との距離の確保」「マスクの着用」など基本的な感染防止対策を講じて、可能な限り開催する方向で検討したい。

質問

定住対策を考えていくうえで、空き家の活用はとても重要なことだと思うが、空き家の1割程度しか登録されていない現状について伺う。

答弁

老朽化による改修や不用品の処分・片付け等空き家所有者への労力的・経済的負担増、相続人が不明、空き家バンク制度を知らないなど様々な要因が考えられる。

質問

本市が求める人材は、町部や山間部など地域によって多少異なると思う。地域に見合った特定の人や家族をターゲットにした戦略なども効果的であると思うが、定住希望者の引き込み戦略、定住世帯への市独自の優遇措置等について伺う。

答弁

定住支援サイト「やすぎぐらし」や定住相談会への出席、東京、大阪、広島、島根県事務所、ふるさと島根定住財団等と連携して情報発信を行っている。市独自の優遇措置はないが、空き家改修助成、新規就農者支援、子育て支援等引き続き実施していく。



市民クラブ
澤田 秀夫

スケートボードについて

質問

公園内でスケートボードに関する「トラブルや苦情」が相次いだ場合は、どのような処置をされるのか伺いたい。

答弁

現状として、指定管理者が管理する公園内の駐車場や文化ホールで、高校生等がスケートボードをしている事例が確認されているが、その際には指定管理者が注意喚起を行っている。

公園内で発生した苦情やトラブルが相次ぎ、注意に従っていただけない場合は、対処法として「安来市都市公園条例」及び「安来市公園条例」の条文にある「公園の損壊その他の理由により、その利用が危険であると認められる場合」を適用し、スケートボードの使用禁止または制限の措置などが想定される。

質問

中海ふれあい公園や町中の公園内などに簡単な「スケートパー

ク」を造ることを検討できないか伺いたい。

答弁

中海ふれあい公園については、特定のスポーツや使用方法を限定せずに幅広く、多くの人に利用していただき、憩いの場となることを目指している。何らかの利用へ特化した施設を整備することは、多様なイベント利用などへの妨げになる恐れもある。よって、現時点では中海ふれあい公園には、スケートボードに限らず専用の施設を整備する考えはない。

質問

安来市の将来を担う若者達のために、堂々と「スケートボード」ができる場所を検討できないか、再度伺いたい。

答弁

現段階では、スケートパークを整備する計画はない。しかしながら、市内におけるスケートボード利用の現状把握や近隣自治体の情報収集を行い、ニーズに応じて既存施設の中で安全確保ができるスペースの選定をしていくとともに、基本的なルールを定め、広く市民へ周知を行うことにより、初心者や地元スケーターがマナーを守ってスケートボードを楽しめるよう、可能な限りスポーツの振興を図っていきいたいと考えている。

9月定例会議

一般質問要旨



誠和クラブ
石倉 刻夷

日本遺産の活用について

質問 平成28年度認定になった「出雲國たたら風上記」鉄づくり千年が生んだ物語」の日本遺産の活用と、観光振興等について伺う。

答弁 鉄の生産技術や砂鉄採取跡地を稲田に再生するなど今も伝えられる文化財群として、市では金屋子神社をはじめ9つの文化財がある。シンボルマーク、ロゴの作成等、認知度向上と誘客促進に努めた。観光協会や旅行会社等が参画するプロジェクト会議を設置し官民連携により様々な取り組みを行った。

今年度「日本遺産」の継続審査を終えて「重点支援地域」に選定され、令和4年度から3か年の地域活性化計画を進めていく。2市1町が連携し、文化庁から支援を受けながら観光振興に取り組んでいく。和銅博物館への「安来日本遺産センター」看板設置は、ガイダンス機能強化計画の中で検討する。「日本遺産」認定

市町村が参画するサミット開催は、現時点では、「鉄の道文化圏推進協議会」で招致する計画はない。

畜産振興について

質問 安来市の畜産振興と支援、又、肥育センターの存続について伺う。

答弁 第12回全共に県代表として、安来市から伯太町の方の所有牛一頭が出品されることとなり、関係者が一丸となって飼育管理に努め、優秀な成績が修められるよう取り組んでいる。

有畜農家への支援は「畜産飼料価格高騰対策事業」、「しまね和牛生産振興繁殖雌牛更新対策事業」、「畜産クラスター事業」等の継続的な活用により支援している。

J Aしまねやすぎ地区本部の肥育センターは、平成14年度に「低コスト肉用牛生産特別事業」の活用と1市2町の支援により建設され、畜産振興に重要な役割を担ってきたが、J Aしまねの肥育事業撤退報道を受け、市としては今後の状況を注視しながら対応を検討していきたいと考え

その他の質問事項

○企業立地推進について



政進クラブ
岩崎 勉

本市の農業振興策

質問 本市のタマネギ生産について、収穫後から発生する輸送費・貯蔵費等の販売までに必要となる経費の概略について伺う。

答弁 集荷・乾燥・根葉切り・予冷費等の選果調整に関わる費用として、1 kgあたり26・4円、資材費や市場出荷運賃等の出荷関連に関わる費用として、1 kgあたり25円となり、合計して1 kgあたり51・4円になると算出されている。

質問 今後、本市が進んで行く水田園芸の方向性、考え方について伺う。

答弁 産地化に向けた地域の合意形成、排水対策、ハウス・機械整備、販売対策を効果的に取り組めるよう、県の水田園芸拠点づくり事業や国の産地生産基盤パワーアップ事業、ほ

向きの契約取引をはじめとする多様な販路を確保し、J Aによる値決め販売などと併せて、農業者が販売面で不安なく生産に集中できる環境づくりを進めて行く。

交流センターの在り方について

質問 (仮称) 交流センターを核とした地域づくりのあり方検討委員会について伺う。

答弁 検討委員会の開催については、これまでに第1回を7月19日に、第2回を8月23日に開催した。委員については、交流センター館長5名、社会教育委員3名、生活支援協議体の代表者3名、有識者2名の計13名を委嘱した。委員長は、島根県立大学総合政策学部の赤坂一念教授となった。

質問 今後の開催予定と検討内容について伺う。

答弁 9月29日に第3回検討委員会として先進地視察を行い、第4回以降は月1回のペースで開催する予定。10年後の地域のあり方を見据えた上で、交流センターを核とした地域づくりの運営方針や市の支援体制などの基本方針と方向性などについて協議し、年内を目処に最終報告をまとめる予定である。



公明党
佐々木 厚子

安来市小中学校

適正配置について

質問 安来市の学校適正配置の議論については、十数年前から言われてきているが先送りされてきた。少子化が進んでいる安来市にとって、

もう先送りは出来ない最重要課題である。本年2月によろやく「安来市立小中学校適正配置基本方針」が策定された。策定までの経緯と、今後基本方針をもとに基本計画、実施計画が策定されていくが、最終的に安来市の学校適正配置はどのように進んでいくのか伺う。

答弁 教育推進会議が提言し、安来市教育委員会会議と安来市総合教育会議において協議された基本方針がまとめられた。特に力点を置いたのは、目まぐるしく変化する現在及び将来の社会において、子どもたちの持続可能な社会の担い手として必要な資質、能力を育むために教育環境を整えるという視点である。

今年、教育委員会の諮問機関として「安来市小中学校適正配置審議会」が立ち上がった。10回程度審議会を行う予定としているが、4回目までは基本方針の内容を中心に説明し、5回目以降は基本計画の答申のための議論を行う。基本計画は最終的に令和5年秋ごろを目途に決定する予定である。

最終的な「小中学校適正配置実施計画」策定については、基本方針及び基本計画に基づきながら丁寧な説明をし、慎重な対応をしながら着実に進めていく。

带状疱疹予防接種について

質問 長引くコロナ禍によるストレスなどで、带状疱疹の罹患者が全国的に増加傾向にある。带状疱疹の予防にはワクチン接種が有効だと聞いている。国がワクチン接種の補助として地方創生臨時交付金の活用を可能としたことから、全国の自治体で一部の補助を行う所が増えてきている。安来市の考えを伺う。

答弁 国で定期接種化を含め安全性や期待される予防効果等のデータをふまえ、効果検証の議論がされているので、国の動向を注視していく。現時点では助成については考えていない。

今年、教育委員会の諮問機関として「安来市小中学校適正配置審議会」が立ち上がった。10回程度審議会を行う予定としているが、4回目までは基本方針の内容を中心に説明し、5回目以降は基本計画の答申のための議論を行う。基本計画は最終的に令和5年秋ごろを目途に決定する予定である。



誠和クラブ
三島 静夫

ふるさと教育について

質問 ふるさと教育を推進していくための取り組みを伺う。

答弁 各小中学校では、それぞれにおいて地域の教育資源を活かした特色あるふるさと教育を、各校独自で取り組んでいる。各校の取り組みに加え、市内の小中学生を対象として安来の鉄の歴史を学ぶ機会とするため、日立金属㈱安来工場と和鋼博物館の見学を行っている。また中学生を対象として安来市加納美術館を活用して平和学習を行っている。

また、新たに安来市に着任した教職員を対象としてふるさと教育研修を行い、安来市の教育資源への理解を深めることで、充実した学習活動が展開されることをねらいとしている。

質問 ふるさと教育推進のための資源開発に対する取り組みを伺う。

答弁 学校・家庭・地域が協働し、

地域の教育資源を活かした教育活動を小中学校の全学年で実施している。地域資源を活かしたふるさと教育として、交流センターや地域コーディネーターを通じて地域の方を講師として招き授業への参画を依頼する等している。

また、野外での活動の際には、地域の方々が山道や河川敷の整備など、子どもたちの遊び場を整備されるなど、ふるさと教育の円滑な実施に支援していただいている。交流センターが各地域の文化や歴史を学べるようなふるさと探訪を実施しているケースもある。

質問 30代40代の方々への地域教育をおこなうために取り組んでいることを伺う。

答弁 この年代は子育てと仕事の両立に忙しく時間的な制約があり、研修等への参加が難しいと思われることから、この年代のみを対象とした教育の場は設けていない。ただし、各地域で開催される交流センター事業や各種イベントなど、様々な機会に親子で参加し、地域の人たちと交流を深めたり、地域の良さや伝統文化に触れることにより、ふるさと活動等に関心を持ってもらうきっかけづくりになればと思っている。

9月定例会議

一般質問要旨



政進クラブ
湯浅 正志

新型コロナウイルス

感染症への対応

質問 5～11歳へのワクチン接種「努力義務」化について接種促進策等の考えが有るか伺う。

答弁 オミクロン株流行下での新たな知見を踏まえ、9月上旬より努力義務が適用される見込みとなっている。安来市においては、令和4年3月より5歳から11歳（小児接種）の方へのワクチン接種を実施しているが、8月31日現在の接種率は23・59%と、年齢が低くなるほど接種率が低い傾向となっている。小児の感染者も多い状況であり、今後国から示される小児のワクチン接種の情報に基づき、メリット、デメリットを含めた正しい情報提供に努める。

中学校における部活動の在り方

質問 部活動の「地域移行」について、今後の部活動の在り方をどの

ように描こうとしているか伺う。

答弁 国から学校の部活動に代わり、地域において、スポーツや文化活動の機会を将来にわたって確保・充実できる環境を構築することが示された。

具体的には、令和5年度から休日の部活動の段階的な地域移行、合同部活動やICT機器を活用した合理的で効率的な部活動の推進などの方策が示され、本市においては、国の動向に注視しつつ、今後策定される島根県の推進計画を参考にしながら、安来市の実情に応じた部活動の在り方を検討する。

農業の振興と持続

質問 「みどりの食料システム戦略」の実現に向け「本市の取組方針」について伺う。

答弁 国の基本方針に基づき、島根県と共同して「環境負荷低減事業活動の促進に関する基本計画」の作成、また、有機農産物の地産地消などの促進、化学肥料を削減した肥料の普及などの取組を、情報収集も行いながら関係機関と協力し、進めたいと考えている。



誠和クラブ
作野 幸憲

地方創生と

デジタル変革（DX）

自治体DX

質問 自治体DXは、市民の皆様のためにならないと意味がないと考える。特に市民サービス向上については、どのようなサービスに力を入れて進められるか伺う。将来的には自宅から住民票等の証明書の取得ができることを目指していただきたいと考えるがいかがか。

答弁 市民アンケートの結果等も踏まえ、市民が望むサービスについて優先的に取り組みたいと考えている。具体的に、市民の皆様が「書かなくてよい」「待たなくてよい」窓口として、スマート窓口が導入できないか検討している。スマート窓口とは、マイナンバーカードを活用したり、自宅等で事前にオンライン申請（予約）ができた、申請者に必

要な手続をAIが分析し一括で申請できるなど、サービスの向上を目指すものである。将来的には、市役所に行かなくても各種の申請や届出が行えるようにすべきと考える。

農業のデジタル変革

質問 日本の農業をいかに「データ」の力で次世代に継承していくかということは、将来の農業を考えるときにとても重要だと考える。今後データを活用した農業をどのように展開していくか、方針を伺う。

答弁 国は「2025年までに農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践」を掲げて、施策を展開している。その実現のためには、作業記録のデジタル化、自動化による栽培技術の伝承やドローン、衛星によるセンシングデータや気象データによって農作物の生育や病害虫を予測するなど、生産性の向上、高品質化が達成できるように、まずは研修会を開催するほか、県内で行われているデータに基づく栽培の実証を情報収集し、実装に向けた検証、あるいは国の補助事業の有効な活用を図るなど、関係機関と連携しながらスマート農業を推進していく。



市民クラブ
岡本 早智雄

安来庁舎1階

市金庫スペースの活用

質問 安来庁舎での指定金融機関の窓口業務が終了となり、そのスペースが空くこととなった。その理由や経過等、また、現状の利用状況について伺う。

答弁 島根県農業協同組合から安来市役所出張所（市金庫）の機能の見直しの要望を受け、令和4年2月、安来庁舎1階に設置されていた安来市役所出張所の窓口が廃止となり、引き続きのための職員派遣も6月をもって終了した。

その後、同スペースの活用と安来庁舎1階をより利便性の高いものとするため、7月に行われた参議院議員選挙後に、同スペースに市の総合案内の移設を行っている。

質問 今後の活用等の考え方について伺う。

答弁 先般、安来市社会福祉協議

会から、同スペースに安来市地域包括支援センターの福祉総合相談窓口設置の要望を受けたところである。

安来市地域包括支援センターは、市の委託事業として高齢者をはじめ、地域住民の総合相談窓口として、地域住民の保健・医療・福祉の向上、虐待防止、介護予防のケアマネジメントを総合的に行う機関である。

生活相談はコロナ禍で増加しており、また、同センターの事務所の位置が市民の皆さんにわかりづらいことも伺っている。

要望を受け検討を行った結果、場所がわかりやすく、市役所関係部署との連携が取りやすい、安来庁舎1階の同スペースに安来市地域包括支援センターの福祉総合相談窓口を設置することとした。

質問 安来市社会福祉協議会としても、職員の配置などの体制整備や備品等の準備等も必要となるが、なるべく早くスタートしていただきたい。その窓口はいつから始められる予定なのかを伺う。

答弁 現在、安来市社会福祉協議会と調整を進めており、年度内には設置したいと考えている。窓口設置の時期が決まれば、改めて市民の皆さんに広報等でお知らせしたいと考えている。



政進クラブ
福井 加代子

安来市のひきこもりの

現状とその対策

質問 安来市のひきこもり状態にある人の現状を伺う。

答弁 「ひきこもり」は、様々な要因が背景になって生じる状態で、ひきこもりになるきっかけや経緯はそれぞれ異なり、その状態も様々である。なかでも高齢者相談から家族のひきこもりが発覚し、支援に繋がることが多く、家庭内や地域とのトラブルなど、家族全体に対する複合的で継続的な支援を要する世帯が増加傾向にある。現在、福祉課において20人を超える相談支援を行っており、その多くは支援期間が長期にわたっている。

質問 相談に来られた方は何とか寄り添ってあげることも出来るので、社会とつながる第一歩を踏み出してほしいと考えるが、安来市の相談窓口と訪問支援について伺う。

答弁 福祉課の総合支援係を中心に相談支援を行っている。また「子

ども・若者相談窓口」を設置し、主に中学校卒業後からおおむね40歳未満の生きづらさや困難を抱える子ども・若者を対象に相談支援を行っている。内容は訪問支援を中心とし、学校や職場、ハローワークなどと連携しながら学習支援や新規就労、中途退職者の再就職に向けた支援など継続的に実施している。

また不安や悩みを抱える家族への情報提供や助言も行っている。

指定管理者制度について

質問 令和3年度は22の施設が指定管理者制度を導入して運営されているが、制度の概要と募集方法を伺う。

答弁 民間におけるサービス提供能力の向上を踏まえ、民間の優れた経営ノウハウや技術などを「公の施設」の管理に活用し「サービス向上」「経費の縮減」を図ることを目的に、平成15年9月に創設した。募集方法については、公募と非公募があるが、原則、公募としており、施設の設置目的や性格、規模などにより公募に適さない場合や、特異な専門性、その指定管理者が地域に根付いた団体など、公募を行わないことについて合理的な理由がある場合は非公募としている。

9月定例会議

一般質問要旨

自転車を活用した

観光とまちづくり



政進クラブ
三原 哲郎

またサイクルロードの整備やサイン計画を併せて計画してみたいかか。

答弁 サイクリング事業はまだ試行段階で、ハード部分の整備については、今後の気運の高まりなどを注視していきたい。

今後、地域団体などの企画運営による大会が開催される場合は、支援を検討していく。

質問 「安来ふらりチャリ」のコースとして、距離の短い、参加しやすい数キロのミニコースを増設し、イエローバスを送迎に使用し、サイクルステーションの設置や、新たなマップ作成、ツアーガイドの増員、イエローバスの見直しも含め、見解を伺う。

答弁 参加しやすい短距離のミニコースも含め観光協会とともに検討していく。引き続きツアーガイドの養成等や新たなマップ作成は取り組んでいく。

イエローバスは、バスのルートによつては活用できる可能性もある中で、サイクリングコースが設定される場合に既存路線が経由できるかどうかの検討をしたい。

質問 「やすぎランニングフェスティバル」が10月に行われるが、サイクリング大会も検討してはどうか。

その他の質問事項

○ノーマイカーデーについて

再生可能エネルギーの

地産地消に向けて



日本共産党
向田 聡

設備設置による地域経済循環率向上などについて調査、検討を行うものである。

質問 ビジョン策定をどのような方法で進めていく予定か、またどういう方がメンバーになるのか伺う。

質問 「安来市再生可能エネルギー地産地消ビジョン」策定に向けて、業務委託費が予算化された。この事業の目的と委託内容はどのようなものか伺う。

答弁 事業の目的として、本市は現在、化石由来のエネルギーを市外から調達する構造となっており、年間170億円のエネルギー代金を市外に流出している。これを、再生可能エネルギーを地産地消する構造に可能な限り転換し、経済の市内循環と2050年カーボンニュートラル実現を目指すものである。委託内容は、ビジョンの策定のほか、市での再生可能エネルギー設備を増やしていくために、公共施設を含め、どこにどのような設備を設置できるのか、生み出すエネルギーをどう有効活用していくのか、また地域新電力設立や

答弁 将来を担う若者世代の声が重要と捉えており、すでに、市の若手職員、高校生とワークショップを行っている。今後社会人のワークショップも行い、その声を基に、策定委員会による3回程度の会議を経て、今年度末までに策定する予定である。また、策定して終わりではなく、国の補助事業等を活用しながら、取り組みを続けていく。策定委員メンバーは、学識経験者（島根県大の環境経済学の准教授）、安来市地球温暖化対策地域協議会委員、産業関係者、行政関係者、一般公募市民の方などで構成し、総数25名以内としている。

質問 営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）が注目されているが、市としての考え方を伺う。

答弁 農業地区域内の効率的な耕作が阻害される恐れがあること、日照量が十分でないことから栽培品目が限定されることなど懸念するところはあるが、積極的に取り組みを希望される方へは、事業実施に向けた補助制度を紹介していきたい。

包括連携協定について

市民クラブ
原瀬 清正

質問 本市で多数の包括連携協定が締結されているが、その目的と意義について伺う。

答弁 包括連携協定とは、地域が抱えている課題に対して自治体と民間企業等が協力し、解決を目指す協定のことであり、地域の課題は福祉環境、防災からまちづくりまで多岐にわたるが、民間企業が持つノウハウや最新の技術、サービスを自治体に取り入れて、地域課題の解決や市民サービスの向上に繋げていくことを目的としている。また、様々な分野の企業等と包括連携協定を締結することにより、解決したい課題に合わせて協働で取り組む企業等を選べるメリットがあると考えている。

質問 直近で締結されたトキワホールディングス(株)との協定内容と目的やスケールメリットについて伺う。

答弁

トキワホールディングス(株)は、地方の活性化、女性の社会進出、企業の後継者不足の3つの社会課題に取り組むソーシャルソリューションカンパニーであり、地方創生の中でも女性の社会進出の推進に力を入れておられることから、安来市の女性の定着化などの課題に協働で取り組んで頂けると判断し、その他の地方創生に係る取り組みも含め、協定を締結するに至った。

締結した協定項目は、女性の社会進出の推進に係ること、PR活動に関すること、里山自然体験、帰省とワーケーションのコラボレーション、遊休施設の利活用に関すること、国際交流に関すること、後継者不足の解決、移住促進、雇用の確保に関すること、その他地方創生に関することの6項目である。

この協定に基づき、8月31日には安来市人権・同和教育推進協議会の研修において「女性の活躍が企業のこれからを創る」と題して、市内の各企業に向けてお話し頂いた。

今後は、地域と企業、地域と海外、地域と地域を結ぶ機会の提供や様々なサービス、事業創出を通じた地方創生の推進に協働で取り組む。

議場で議会を傍聴してみませんか

一般質問も議場でご覧になれます。

傍聴したいときはどなたでも傍聴できます。

本会議の傍聴席は現在席の間隔を空けているため14席程度となっています。傍聴席入口の受付簿に住所と氏名を記載し、入場してください。ただし以下の場合には事前にご連絡ください。

- 団体で傍聴される場合
- 全員協議会を傍聴される場合
- 委員会を傍聴される場合

※新型コロナウイルス感染症予防のため、マスクの着用・手指消毒にご協力ください。



Q：だれでも傍聴できるの？

A：どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、本会議の当日、直接お越しください。

Q：予約はできるかな？

A：予約はできません。先着順でご入場いただきますが、席に限りがあるため、お断りさせていただく場合もあります。

令和4年度 委員会行政視察概要

総務企画委員会（7月11～12日）

- ◆兵庫県洲本市
再生エネルギー活用について
- ◆兵庫県三木市
デマンド型交通について



文教福祉委員会（7月12～14日）

- ◆兵庫県小野市
小中一貫教育について
- ◆奈良県生駒市
地域包括ケアシステムの構築と推進について
- ◆介護予防・日常生活支援総合事業について
- ◆京都府亀岡市
かめおかブラスチックごみゼロ宣言について



行政視察とは、他の自治体などの先進的な施策や、取り組みを現場に赴いて調査するものであり、政策立案や意思決定に資する重要な議会活動です。



島根原子力発電 対策調査特別委員会（7月26～28日）

- ◆女川原子力発電所（宮城県牡鹿郡女川町）
島根原発2号機と同様の沸騰水型軽水炉である女川原発2号機の再稼働への取り組み、また島根原発との相違点やこれまでのトラブル事象等について
- ◆宮城県登米市
地域防災計画、住民避難計画、及び原子力防災訓練等について
- ◆日本原燃株式会社
燃料サイクル施設（青森県上北郡六ヶ所村）
核燃料サイクルの推進を基本方針としている国の関連施設の現状の把握、及び核廃棄物の処理等について

議会運営委員会（8月22～24日）

- ◆長野県軽井沢町議会
・通年議会導入による成果と課題
・会議開催日数
・広報広聴委員会を常任委員会に含めた理由と成果
・常任委員会に年間テーマ（調査事項）を設けた理由とその他の会議開催日数
・広報広聴委員会の業務内容及びスケジュール
・その他、議会改革について特記すべき事項
- ◆富山県黒部市議会
・議員定数減に伴う常任委員会の数を減らす意見は無かったのか
・議会改革特別委員会の構成が、議員全員での構成されている理由と効果
・予算決算委員会の録画画像配信に至る経過と成果
・広報広聴委員会の業務内容
・その他、議会改革において特記すべき事項
- ◆石川県加賀市議会
・常任委員会を、2つに再編されたことについて
・執行部に対して行われている政策提言について
・加賀市議会PDC A運用規定導入の経過と成果
・議会活性化特別委員会（議会改革、広報・広聴）の取り組みについて
・その他、議会改革について特記すべき事項

※詳細は安来市ホームページでご覧になります。
※地域振興委員会については次号に掲載の予定です。

編集後記

猛暑が続いた日々も嘘のように一気に秋めいてきました。農業に携わられている皆さまは、稲刈りも終わりが一段落されたのではないのでしょうか。

新型コロナウイルスの感染も少し落ち着いてきたように思います。旅行支援として県民割制度に続き、国が全国旅行支援を10月11日から開始したことに伴い本格的に秋の旅行シーズンを満喫する動きも出てきているようです。とてもいいことだと思います。しかし、ロシアのウクライナ侵攻により私たちの生活にも影響が出てきています。日々の生活に欠かせないものの値上げラッシュが続く、家計が苦しくなってきたという声も聴いています。その中で、安来市から一人3千円分の「やすぎ家計応援商品券」が届いたと思います。皆さま方のお役に立てば幸いです。実りの秋、食欲の秋、読書の秋、それぞれの秋を満喫し、日々心豊かに過ごせたらいいですね。

スマホアプリ「マチイロ」にやすぎ市議会だより配信中！



YouTubeで市議会配信



広報広聴委員会
佐々木 厚子